

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：北陸地方整備局建政部都市・住宅整備課
担当課長名：細萱 英也

事業名	都市計画道路 <small>ねあがりこまつせん</small> 根上小松線	事業区分	街路	事業主体	石川県																			
起終点	<small>こまつしかげはしまち こまつしおおかわまち</small> 小松市梯町～小松市大川町	延長	0.6km																					
事業概要 ：本路線は、小松市中心部の玄関口として、都市基盤の強化を図るため、整備を実施する。現在の小松大橋は、昭和10年に架橋されており、現在の交通量や兵庫県南部地震のような地震にも対応した安全性を確保できる橋梁へ架け替える。梯川河川改修事業（国土交通省）で梯川の拡幅を実施中であり、小松大橋架け替えと同時にを行うことにより、効率的な事業の執行と多大な事業効果が発揮できる。																								
H10年度事業化	H5年度都市計画決定 (H9年度変更)	H10年度用地着手	H16年度工事着手																					
全体事業費	62億円	事業進捗率	44.7%	供用済延長	— km																			
計画交通量	12,100台/日																							
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">6.9</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">13.0</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">32/ 61 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費) : 32/ 61 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">総便益 (残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">418/ 418 億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益 : 367/ 367 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益 : 41/ 41 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益 : 9.6/ 9.6 億円</td> <td></td> </tr> </table>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">6.9</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">13.0</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	6.9	(残事業)	13.0	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">32/ 61 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費) : 32/ 61 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/ (事業全体)	32/ 61 億円	(事業費) : 32/ 61 億円		維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円		総便益 (残事業)/ (事業全体)	418/ 418 億円	走行時間短縮便益 : 367/ 367 億円		走行経費減少便益 : 41/ 41 億円		交通事故減少便益 : 9.6/ 9.6 億円		基準年	平成19年	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">6.9</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td style="text-align: center;">13.0</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	6.9	(残事業)	13.0	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">32/ 61 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費) : 32/ 61 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/ (事業全体)	32/ 61 億円	(事業費) : 32/ 61 億円		維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円														
B/C (事業全体)	6.9																							
(残事業)	13.0																							
総費用 (残事業)/ (事業全体)	32/ 61 億円																							
(事業費) : 32/ 61 億円																								
維持管理費 : 0.4/ 0.4 億円																								
総便益 (残事業)/ (事業全体)	418/ 418 億円																							
走行時間短縮便益 : 367/ 367 億円																								
走行経費減少便益 : 41/ 41 億円																								
交通事故減少便益 : 9.6/ 9.6 億円																								
事業の効果等 ・小松大橋の大型車両化への対応、耐震性の向上により安全で安心な道路機能の確保する。 ・国土交通省が施行する梯川改修事業との同時施行であり、治水安全性の向上に寄与する。外9項目に該当																								
関係する地方公共団体等の意見 小松市としても、中心市街地への北の玄関口として必要な整備と認識している。																								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 小松市の中心部では、平成15年に小松駅鉄道高架事業及び小松駅東西の土地区画整理事業が完了し、中心市街地の活性化が図られており、当路線は市中心地への「北の玄関口」の役割が高まってきている。																								
事業の進捗状況、残事業の内容等 橋梁工事に必要な用地の取得は完了しており、嵩上げ補償対象地権者についても理解を得ている。平成19年度中に橋梁下部工を完了、平成21年度末には新橋梁の供用を目指す。																								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 左岸側宅地嵩上げ範囲については、詳細な土質調査を行った結果、当初の想定より地盤の軟弱層が厚いため、施工後の残留沈下が大きいことが判明し圧密沈下対策が必要となった。これらに3年を要する。																								
施設の構造や工法の変更等 橋梁支承工や橋梁防風柵工を見直し、コスト削減を図っている。																								
対応方針	事業継続																							
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																							
事業概要図 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 60%;">  </div> </div>																								

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。